

2022/23 年度第 2 回理事会 議事録

日時： 2023 年 5 月 27 日（土）18 時～20 時

会場： Zoom によるオンラインミーティング

=====

<https://us06web.zoom.us/j/84717506821?pwd=L1JLdFltREl1ZjVjdM4yQkdQdERKQT09>
ミーティング ID: 847 1750 6821
パスコード: 410427

=====

出席者： 理事：山野博哉，波利井佐紀，栗原晴子，中野義勝，木村匡

監事：野中正法，宮本育昌

事務局：久保田賢

各種委員長（オブザーバー）樋口富彦

代議員（オブザーバー）：藤井琢磨，長田智史

欠席者： 理事：井龍康文

議題（案）

報告事項

(1) 業務報告

1. 学会誌（資料 1）

資料に基づき、雑誌編集の実施状況、会議の開催状況、論文賞選考等について報告された。今後の活動方針や課題について、投稿が Photogallery に偏っていることの是正を検討していることが紹介されるとともに、学会戦略委員会や理事会として論文掲載料の導入や和文誌の冊子体廃止について検討するよう依頼された。

インパクトファクター取得の検討に関する質問に対しては、取得を目指し投稿・被引用数増加の取り組みや情報収集等を継続するが、現状では取得条件がかなり高そうなので、取らない方向での雑誌の性質をシフトしていくことも編集委員会で話題に上っているということであった。

理事会開催前に井龍理事より指摘のあった特定の故人の追悼論文集の要否について、規模の小さな雑誌であること、インパクトファクター取得を念頭に置けば投稿数が増えることが大切であることから、今回は予定通り特集セクションとする方向となった。ただし、提案のあったように、今後、同様の企画は科学テーマに沿ったものを受け付けるなど、方針を委員会で検討する。

2. 広報・社会連携（資料2）

資料に基づき、委員会の開催、ニュースレターの発行と準備、ホームページの作成・更新、一般からの問い合わせへの対応、Web の WordPress アップデート作業の完了、書籍出版の準備、小中高校生ポスター発表の実施と、今後の活性化に関する議論、保全・教育普及奨励賞の公募、学会内外向けの講習会の実施、サンゴ礁ウィーク 2023 オンライン参加等の活動や 5th APCRS のブース出展準備状況等について報告された。また、今後の予定について、委員長や委員の交代についても報告された。

5th APCRS 用のグッズの作成について、追加の支出について提案された。必要性や QR コードのリンク先等について質問あり、承認された。

なお、書籍の出版について本会からの依頼状が必要ということが共有された。

3. 学会戦略・国際連携（資料3）

井龍理事が作成した資料およびその後開催された国際連携委員会の議論の内容に基づき、国際連携関連の内容について木村庶務・会計担当理事が報告した。6月にシンガポールで開催される第5回 APCRS 期間中に決定される予定の第6回 APCRS の日本への誘致の件については、学会内の機運を高めるための期間が短いという理由で、第7回の誘致に向けた検討を進めること、それを見据えて中村崇会員へ委員就任の依頼をすることとなったということが紹介された。

APCRS の渡航支援者のブース担当の調整についての質問があり、日程調整中であることが報告された。またその選考基準についての質問に対して議論され、明確な基準作成が必要であること、基準はあらかじめ提示されるべきであることが確認され、そのために今回の選考課程のメモを委員長に依頼することとなった。また、駆け込み入会者を対象とせず、当該年度の JCRS 大会時点の会員登録者という条件を付与するという事も併せて申し送ることとなった。

沖縄における自然史博物館の設立の動きがあり、その要望の活動へ学会としてどのように関与できるかについて探るため、学会戦略委員会の方で情報収集や検討してほしいという要請があった。

4. サンゴ礁保全・調査安全（資料4）

保全関連の事業について、資料に基づき第25回大会時の自由集会、保全・教育普及奨励賞授与、「石垣リゾート&コミュニティ計画」に関する要請書の連名提出等の報告に加え、サンゴの移植に関してのガイドラインの策定に関する今後の検討について紹介された。

調査安全関連の事業については、2022年11月の委員会開催後、HPの改定作業を進めていることが紹介された。新たな情報としてこれまでの勉強会等のイベントの掲載や専門性の高い新たな委員の参加やAAUS (American Academy of Underwater Sciences)の安全基準に関する勉強会の開催を検討しているということが紹介された。

5. 庶務・会計

1) 大会準備状況（資料5）

資料に基づき、準備状況が紹介された。

2) 選挙準備状況（資料6）

公示、代議員立候補者に関する別紙を含めた資料に基づき、現在の進捗について報告された。前回の選挙時に地区の廃止を検討することとなっていたことが話題に上り、今年度までに検討できていなかったことが確認されるとともに、オンライン会議が一般的になってきたこと、地区を分けることで選挙のコストがかかることなどから、次年度（2023/24年度の理事会）で決議するよう申し送ることとなった。

6. その他

1) JST 収集資料の利用法について（資料7）

郵送で届いた資料が共有された。

審議事項

(1) 理事の増加、役割について（会長）（資料8）

資料に基づき、提案の趣旨が紹介された。2023/24年度代議員総会での決議が必要な内容を含むため、本理事会ではそれに向けた準備の可否について提案され、検討を開始するということが承認された。

(2) 理事選挙における規則改正について（庶務・会計）（資料9）

審議事項（1）の重複部分が多かったため、一括で審議された。

(3) 事務局の移転について（庶務・会計）（資料 10）

資料に基づき事務局移転の話題が上った経緯等について説明された。移転後の運営形態として、これまでのような大学での事務局運営に加え、外注についても検討が進められていることが紹介された。事務局移転における課題として、これまで事務局業務の整理が進んできたが理事全員がその全容を理解しているわけでは無いため、①理事が外注可能な事務業務を選別できない、②事務局長の役割責任を明確にできない、③よって事務局長の選出が困難である、④そのため事務局長の引継ぎができず事務局業務が年明けに滞る可能性が高い、が挙げられた。これらに対処するには理事による早急な対応が必要と判断され、5月31日（水）および6月1日（木）に現事務局業務を概観できる電子フォルダの説明を改めて受けることとなった。

(4) その他

1) 理事会主催シンポジウムについて（資料 11）

東北大学の得意分野を活かして、地質関係で大会実行委員会と共同で開催する方向で調整することとなった。